

学校コード F143310111317

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

崇城大学 生物生命学部 生物生命学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人君が淵学園
令和4年5月1日現在

作成担当者

法人課

職名・氏名

ホウジカチョウ ヤマガタ ショウザン
法人課長 山形 象山

電話番号

096-326-3441

(夜間)

096-326-5041

e-mail

hojin@ofc.sojo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

生物生命学部

＜生物生命学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	44

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人君が淵学園

(2) 大学名

崇城大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒860-0082

熊本県熊本市西区池田4丁目22番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナカヤマ ミネオ) 中山 峰男 (平成15年12月)		
学長	(ナカヤマ ミネオ) 中山 峰男 (平成15年12月)		
学部長	(タケヤ ヒロユキ) 武谷 浩之 (令和2年4月)		
学科長等	(エキノ ケイスケ) 浴野 圭輔 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生物生命学部 生物生命学科 学士（工学）	工学関係	4 年	150 人	年次 人	600 人		<基礎となる学部等> 生物生命学部 応用微生物工学科 応用生命工学科

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	150 (-) [-]	1.19倍	-
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	803 (-) [3]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	797 (-) [3]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	600 (-) [3]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	179 (-) [2]		
入学定員超過率 B/A											1.19		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	179 [2]	- [-]	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
3年次			/		/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()
4年次	/						/		[] ()	[] ()	[] ()
計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	179人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		0人		人	人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{179} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	SOJOセミナー	1前	1									6
	SOJO基礎 I	1前	2									6
	SOJO基礎 II	1後	2									6
	情報処理基礎	1前	2								1	1
	小計 (4科目)	—	7	0	0	0	0	0	0	0	0	9
キャリア教育	アントレプレナーシップ入門	1前		2								2
	ベンチャービジネス	1後		2								2
	イノベーション入門	2前		2								2
	ローカルイノベーション	2後		2								2
	キャリアプレコオプ	2		2								2
	インターンシップ I	3前		1								1
	インターンシップ II	3後		1								1
	キャリアプロジェクト	3前		1								1
	キャリアセミナー	3後		1								1
	小計 (9科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	4
人間と科学・外国語教育 基礎教育課程	科学技術者倫理	3後	2									1
	日本語表現	1後・2		2								1
	日本の文学	1後・2		2								1
	人間と心理	1後・2		2								1
	人間と哲学	1後・2		2								1
	人間と歴史	1後・2		2								1
	人間と環境	1後・2		2								1
	現代の社会と法	1後・2		2								1
	現代の社会と政治	1後・2		2								1
	現代の社会と経済	1後・2		2								1
	アートとデザイン	1後・2		2								14
	日本国憲法	3前		2								1
	英語圏の文化と社会	1後・2		2								2
	中国語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	韓国語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	ドイツ語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	フランス語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	中国語	2後		2								1
	韓国語	2後		2								1
	ドイツ語	2後		2								1
	フランス語	2後		2								1
	健康スポーツ教育 I	1前	1									4
	健康スポーツ教育 II	1後	1									4
	健康科学概論	1後・2		2								1
	健康スポーツ実習	2		1								1
小計 (25科目)	—	4	43	0	0	0	0	0	0	0	34	
数理基礎教育	バイオ・化学系の基礎数理 I	1前		3								5
	バイオ・化学系の基礎数理 II	1後		3								5
	バイオ・化学系の数理 I	2前		2								1
	バイオ・化学系の数理 II	2後		2								2
	基礎物理学	1前		2								3
	物理学	1後		2								3
	物理学実験	2前		2								3
小計 (7科目)	—	3	13	0	0	0	0	0	0	0	10	
英語・日本語基礎教育	イングリッシュコミュニケーション I	1前		2								7
	イングリッシュコミュニケーション II	1後		2								7
	イングリッシュコミュニケーション III	2前		2								7
	イングリッシュコミュニケーション IV	2後		2								7
	英語留学研修	1		2								1
	TOEIC演習	1後・2		2								1
	アカデミック英語	3		2								1
小計 (7科目)	—	8	6	0	0	0	0	0	0	0	7	

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	SOJOセミナー	1前	1									9
	SOJO基礎 I	1前	2									3
	SOJO基礎 II	1後	2									3
	情報処理基礎	1前	2									3
	小計 (4科目)	—	7	0	0	0	0	0	0	0	0	13
キャリア教育	アントレプレナーシップ入門	1前		2								1
	ベンチャービジネス	1後		2								2
	イノベーション入門	2前		2								2
	ローカルイノベーション	2後		2								2
	キャリアプレコオプ	2		2								2
	インターンシップ I	3前		1								1
	インターンシップ II	3後		1								1
	キャリアプロジェクト	3前		1								1
	キャリアセミナー	3後		1								1
	小計 (9科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	4
人間と科学・外国語教育 基礎教育課程	科学技術者倫理	3後	2									1
	日本語表現	1後・2		2								1
	日本の文学	1後・2		2								1
	人間と心理	1後・2		2								1
	人間と哲学	1後・2		2								1
	人間と歴史	1後・2		2								1
	人間と環境	1後・2		2								1
	現代の社会と法	1後・2		2								1
	現代の社会と政治	1後・2		2								1
	現代の社会と経済	1後・2		2								1
	現代の社会と経済 (未開講)	1後・2		2								0
	アートとデザイン	1後・2		2								9
	日本国憲法	3前		2								1
	英語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	中国語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	韓国語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	ドイツ語圏の文化と社会 (未開講)	1後・2		2								0
	フランス語圏の文化と社会	1後・2		2								1
	中国語	2後		2								1
	韓国語	2後		2								1
	ドイツ語	2後		2								1
	フランス語	2後		2								1
	健康スポーツ教育 I	1前	1									4
	健康スポーツ教育 II	1後	1									4
	健康科学概論	1後・2		2								1
健康スポーツ実習	2		1								1	
小計 (25科目)	—	4	43	0	0	0	0	0	0	0	27	
数理基礎教育	バイオ・化学系の基礎数理 I	1前		3								5
	バイオ・化学系の基礎数理 II	1後		3								5
	バイオ・化学系の数理 I	2前		2								1
	バイオ・化学系の数理 II	2後		2								2
	基礎物理学	1前		2								3
	物理学	1後		2								3
	物理学実験	2前		2								3
小計 (7科目)	—	3	13	0	0	0	0	0	0	0	11	
英語・日本語基礎教育	イングリッシュコミュニケーション I	1前		2								6
	イングリッシュコミュニケーション II	1後		2								6
	イングリッシュコミュニケーション III	2前		2								7
	イングリッシュコミュニケーション IV	2後		2								7
	英語留学研修	1		2								1
	TOEIC演習	1後・2		2								1
	アカデミック英語	3		2								1
小計 (7科目)	—	8	6	0	0	0	0	0	0	0	10	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
英語・日本語基礎教育	基礎日本語Ⅰ	1前	2									2
	基礎日本語Ⅱ	1後	2									2
	基礎日本語Ⅲ	2前	2									2
	基礎日本語Ⅳ	2後	2									2
	小計(4科目)	一	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3
基礎教育課程 共通	特殊講座	☆		2								1
	小計(1科目)	一	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
専門共通	化学Ⅰ	1前	2			1	1		1			
	化学Ⅱ	1前	2			1	1		1			
	発酵食品学	1前	2			1						
	食品生体機能学	1前	2			1						
	自然共生人類学	1前	2				1					
	医療福祉工学	1前	2									1
	生物生命学セミナー	1前	1			14	9		1			
	生物学	1前	2			2	1					
	分析化学	1後	2			1	1					
	生化学Ⅰ	1後	2			3						
	有機化学	1後	4			1	2					
	酵素学	2前		2		1						
	細胞生物学	2前		2		1						
	分析化学実験	2前		2			2					
	生化学Ⅱ	2前		2		1						
	一般生理学	2前		2		1						
	一般解剖学	2前		2		1						
	生命科学基礎実験	2後		2		8	4		1			
	生物物理学	2後		2		1	1					
	医学基礎	2後		2		1						
	環境工学概論	2後		2			1					
	発酵化学	3前		2		1						
	食品保蔵学	3前		2								1
	発酵工業機器論	3前		2								1
	工場管理法	3前		2								1
	専門英語Ⅰ	3前		2		2	4					
	醸造学	3後		2		1						
	分子遺伝学	3後		2		1						
	情報処理技術	3後		2		4	4					
	食品関係法規	3後		1								1
	専門英語Ⅱ	3後		2		4	2					
	薬学基礎	3前		2		1						
	特別講義	3前		1		1						
	ゼミナール	4通	2			14	9		1			
	卒業研究	4通	10			14	9		1			
小計(35科目)	一		27	50	0	14	9	0	1	0	5	
生物機能科学	応用微生物学Ⅰ	2前		2		1						
	応用微生物学実験	2前		4		2						
	応用微生物学Ⅱ	2後		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	小計(4科目)	一	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0
分子生命化学	分子生命化学Ⅰ	2前		2		1	1					
	分子生命化学Ⅱ	2後		2		1	1					
	分子生命化学実験	2後		2		1						
	蛋白質工学	3前		2		1						
	小計(4科目)	一	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0
食品生物科学	食品生物科学	2前		2		1						
	栄養生理学	3前		2			1					
	食品生物科学実験	3前		2		2						
	食品分析学	3後		2		1						
	小計(4科目)	一	0	8	0	2	2	0	0	0	0	0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
英語・日本語基礎教育	基礎日本語Ⅰ	1前	2									1
	基礎日本語Ⅱ	1後	2									1
	基礎日本語Ⅲ	2前	2									2
	基礎日本語Ⅳ	2後	2									2
	小計(4科目)	一	8	0	0	0	0	0	0	0	0	3
基礎教育課程 共通	特殊講座 (データサイエンス入門)			2								2
	特殊講座 (未来デザイン)			1								1
	特殊講座 (異分野融合イノベーション)			2								4
	特殊講座 (情報と社会)			2								1
	特殊講座 (情報コミュニケーション)			2								1
	特殊講座 (ITイノベーション)			2								1
	小計(6科目)	一	0	11	0	0	0	0	0	0	0	9
専門共通	化学Ⅰ	1前	2			1	2		0			
	化学Ⅱ	1前	2			2	1		0			
	発酵食品学	1前	2			1						
	食品生体機能学	1後	2			1						
	自然共生人類学	1前	2				1					
	医療福祉工学	1後	2									10
	生物生命学セミナー	1前	1				19	10		2		
	生物学	1前	2			1	1		1			
	分析化学	1後	2			2	1					
	生化学Ⅰ	1後	2			2						
	有機化学	1後	4			1	2					
	酵素学	2前		2		1						
	細胞生物学	2前		2		1						
	分析化学実験	2前		2		1	1					
	生化学Ⅱ	2前		2		1						
	一般生理学	2前		2		1						
	一般解剖学	2前		2		1						
	生命科学基礎実験	2前		2		8	5		0			
	生物物理学	2後		2		1	1					
	医学基礎	2後		2		1						
	環境工学概論	2後		2			1					
	発酵化学	3前		2		1						
	食品保蔵学	3前		2								1
	発酵工業機器論	3前		2								1
	工場管理法	3前		2								1
	専門英語Ⅰ	3前		2		2	4	2				
	醸造学	3後		2		1						
	分子遺伝学	3後		2		1						
	情報処理技術	3後		2		6	2					
	食品関係法規	3後		1								1
	専門英語Ⅱ	3後		2		5	1					
	薬学基礎	3前		2		1						
	特別講義	3前		1		1						
	ゼミナール	4通	2			16	8		0			
	卒業研究	4通	10			16	8		0			
小計(35科目)	一		27	50	0	19	10	0	2	0	14	
生物機能科学	応用微生物学Ⅰ	2前		2		1						
	応用微生物学実験	2前		4		2						
	応用微生物学Ⅱ	2後		2		1						
	微生物利用学	3後		2		1						
	小計(4科目)	一	0	10	0	2	0	0	0	0	0	0
分子生命化学	分子生命化学Ⅰ	2前		2		1	1					
	分子生命化学Ⅱ	2後		2		1	1					
	分子生命化学実験	2後		2		1						
	蛋白質工学	3前		2		1						
	小計(4科目)	一	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0
食品生物科学	食品生物科学	2前		2		1						
	栄養生理学	3前		2			1	0				
	食品生物科学実験	3前		2		2						
	食品分析学	3後		2		1						
	小計(4科目)	一	0	8	0	3	1	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境工学	生物資源環境工学	2前	2			1						
	環境保全工学	2後	2				1					
	生物資源環境工学実験	3前	2			1	1					
	生物反応工学	3後	2			1						
	小計 (4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0
微生物遺伝学	応用分子生物学	2前	2			1						
	微生物遺伝学	2後	2			1						
	遺伝子工学	2後	2				1					
	微生物遺伝学実験	2後	2			1	1					
	小計 (4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0
生命情報科学	分子生物学	2前	2			1						
	生命情報科学実験	2前	2			2	1					
	遺伝子科学	2後	2			1						
	生体情報学	3前	2				1					
	生理活性物質	3後	2			1						
	生体システム論	3後	2			1						
	小計 (6科目)	-	0	12	0	2	1	0	0	0	0	0
医用生体工学	生体高分子科学	2前	2			1						
	医用工学	2後	2			1						1
	医用生体工学実験	2後	2			3	1					
	医薬材料学	3前	2			2						
	小計 (4科目)	-	0	8	0	3	1	0	0	0	0	1
細胞工学	細胞培養工学	2前	2			1						
	細胞工学	3前	2			1						
	細胞機能学	3前	2			1						
	細胞工学実験	3前	2			2		1				
	代謝工学	3後	2			1						
	小計 (5科目)	-	0	10	0	2	0	0	1	0	0	0
生命環境科学	環境生態学	2前	2			1	1					
	生命環境論	2前	2				1					
	生命環境科学実験	2後	2			1	2					
	蛋白質科学	3前	2			1	1					
	環境化学	3後	2			1						
	小計 (5科目)	-	0	10	0	1	2	0	0	0	0	0
プロジェクト	バイオテクノロジー総論Ⅰ	3後	2			3	2					
	バイオテクノロジー総論Ⅱ	3後	2			3	3					
	生命科学実践研究	3前	2			8	4		1			
	生命科学実践演習	3後	1			8	4		1			
	小計 (4科目)	-	0	7	0	14	9	0	1	0	0	0
教職課程	教育原論	1後			2							1
	教職概論	1前			2							1
	教育制度論	1後			2							1
	教育心理学	3前			2							1
	特別支援教育論	2前			1							1
	教育課程論	3前			1							1
	道徳教育指導論	3前			2							1
	総合的な学習の時間の指導法	2前			2							1
	特別活動論	3前			1							1
	教育方法論	3後			1							1
	進路指導・生徒指導論	2前			2							1
	教育相談の理論と方法	2前			2							1
	事前・事後指導	3後~4前			1							2
	教育実習Ⅰ	4前			2							2
	教育実習Ⅱ	4前			2							2
	教職実践演習	4後			2							4
	理科教育法Ⅰ	2後			2							1
	理科教育法Ⅱ	3前			2							2
	理科教育法Ⅲ	2後			2							1
	理科教育法Ⅳ	3前			2							2
	地学	2後			2							2
	地学実験	3前			2							2
	小計 (22科目)	-	0	0	40	0	0	0	0	0	0	11
合計 (158科目)			-	57	217	40	14	9	0	1	0	70

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
環境工学	生物資源環境工学	2前	2			1						
	環境保全工学	2後	2				1					
	生物資源環境工学実験	3前	2			1	1					
	生物反応工学	3後	2			1						
	小計 (4科目)	-	0	8	0	1	1	0	0	0	0	0
微生物遺伝学	応用分子生物学	2前	2			1	0					
	微生物遺伝学	2後	2			1						
	遺伝子工学	2後	2				1	0				
	微生物遺伝学実験	2後	2			2	0					
	小計 (4科目)	-	0	8	0	2	0	0	0	0	0	0
生命情報科学	分子生物学	2前	2			1						
	生命情報科学実験	2前	2			2	1					
	遺伝子科学	2後	2			1						
	生体情報学	3前	2				1					
	生理活性物質	3後	2			1						
	生体システム論	3後	2			1						
	小計 (6科目)	-	0	12	0	2	1	0	0	0	0	0
医用生体工学	生体高分子科学	2前	2			1						
	医用工学	2後	2			1						1
	医用生体工学実験	2後	2			3	1					
	医薬材料学	3前	2			2						
	小計 (4科目)	-	0	8	0	3	1	0	0	0	0	1
細胞工学	細胞培養工学	2前	2			1						
	細胞工学	3前	2			1						
	細胞機能学	3前	2			1						
	細胞工学実験	3前	2			2	1	0				
	代謝工学	3後	2			1						
	小計 (5科目)	-	0	10	0	2	1	0	0	0	0	0
生命環境科学	環境生態学	2前	2			1	1					
	生命環境論	2前	2				1					
	生命環境科学実験	2後	2			1	2					
	蛋白質科学	3前	2			1	1					
	環境化学	3後	2			1						
	小計 (5科目)	-	0	10	0	1	2	0	0	0	0	0
プロジェクト	バイオテクノロジー総論Ⅰ	3後	2			5	0					
	バイオテクノロジー総論Ⅱ	3後	2			3	3					
	生命科学実践研究	3前	2			8	5		0			
	生命科学実践演習	3後	1			8	5		0			
	小計 (4科目)	-	0	7	0	16	8	0	0	0	0	0
教職課程	教育原論	1後			2							1
	教職概論	1前			2							1
	教育制度論	1後			2							1
	教育心理学	3前			2							1
	特別支援教育論	2前			1							1
	教育課程論	3前			1							1
	道徳教育指導論	3前			2							1
	総合的な学習の時間の指導法	2前			2							1
	特別活動論	3前			1							1
	教育方法論	3後			1							1
	進路指導・生徒指導論	2前			2							1
	教育相談の理論と方法	2前			2							1
	事前・事後指導	3後~4前			1							2
	教育実習Ⅰ	4前			2							2
	教育実習Ⅱ	4前			2							2
	教職実践演習	4後			2							4
	理科教育法Ⅰ	2後			2							1
	理科教育法Ⅱ	3前			2							2
	理科教育法Ⅲ	2後			2							1
	理科教育法Ⅳ	3前			2							2
	地学	2後			2							2
	地学実験	3前			2							2
	小計 (22科目)	-	0	0	40	0	0	0	0	0	0	12
合計 (163科目)			-	57	226	40	19	10	0	2	0	89

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。
ただし、124単位の中には下表に示す単位を含むこと。

授業科目の区分		単位数
基礎教育課程	初年次教育	7
	キャリア教育	10
	人間と科学・外国語教育	
	数理基礎教育	
	英語・日本語基礎教育	8
専門教育課程	70	
全教育課程（基礎教育課程・専門教育課程）		24

以下は、コース必修科目とする。

①	分析化学実験、情報処理技術、応用微生物学Ⅰ、応用微生物学実験、分子生命化学Ⅰ、分子生命化学実験、食品生物学、食品生物学実験、生物資源環境工学、生物資源環境工学実験、微生物遺伝学、微生物遺伝学実験は、生物機能科学コースのみ必修。
②	生化学Ⅱ、一般生理学、一般解剖学、生命科学基礎実験、生物物理化学、医学基礎、薬学基礎、分子生物学、生命情報科学実験、医用工学、医用生体工学実験、医薬材科学、細胞工学、細胞工学実験、環境生態学、生命環境科学実験、生命科学実践研究、生命科学実践演習は、応用生命科学コースのみ必修。

（履修科目の登録の上限：原則46単位（年間））

卒業要件及び履修方法

【卒業要件】

4年以上在学し、124単位以上を修得しなければならない。
ただし、124単位の中には下表に示す単位を含むこと。

授業科目の区分		単位数
基礎教育課程	初年次教育	7
	キャリア教育	10
	人間と科学・外国語教育	
	数理基礎教育	
	英語・日本語基礎教育	8
専門教育課程	70	
全教育課程（基礎教育課程・専門教育課程）		24

以下は、コース必修科目とする。

①	分析化学実験、情報処理技術、応用微生物学Ⅰ、応用微生物学実験、分子生命化学Ⅰ、分子生命化学実験、食品生物学、食品生物学実験、生物資源環境工学、生物資源環境工学実験、微生物遺伝学、微生物遺伝学実験は、生物機能科学コースのみ必修。
②	生化学Ⅱ、一般生理学、一般解剖学、生命科学基礎実験、生物物理化学、医学基礎、薬学基礎、分子生物学、生命情報科学実験、医用工学、医用生体工学実験、医薬材科学、細胞工学、細胞工学実験、環境生態学、生命環境科学実験、生命科学実践研究、生命科学実践演習は、応用生命科学コースのみ必修。

（履修科目の登録の上限：原則46単位（年間））

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・担当教員変更により、「SQJ0セミナー」の兼任・兼担数を「6」から「9」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「SQJ0基礎Ⅰ」「SQJ0基礎Ⅱ」の兼任・兼担数を「6」から「3」に変更。
- ・適正なクラス数の配置により、「情報処理基礎」の兼任・兼担数を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員変更により、「アントレプレナーシップ入門」の兼任・兼担数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「アートとデザイン」の兼任・兼担数を「14」から「9」に変更。
- ・担当教員変更により、「英語圏の文化と社会」の兼任・兼担数を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員変更により、「イングリッシュコミュニケーションⅠ」「イングリッシュコミュニケーションⅡ」の兼任・兼担数を「7」から「6」に変更。
- ・担当教員変更により、「基礎日本語Ⅰ」「基礎日本語Ⅱ」の兼任・兼担数を「2」から「1」に変更。
- ・教育の充実のため、特殊講座に「特殊講座（未来デザイン）」（選択1単位）（兼任1）、「特殊講座（データサイエンス入門）」（選択2単位）（兼任2）、「特殊講座（情報と社会）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（情報コミュニケーション）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（ITパスポート演習）」（選択2単位）（兼任1）、「特殊講座（異分野融合イノベーション）」（選択2単位）（兼任4）を科目追加
- ・担当教員の職位変更により、「化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更と担当教員変更により、「化学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、助教1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・開講期間変更により、「食品生体機能学」の配当年次を「1年前期」から「1年後期」に変更。
- ・開講期間変更により、「医療福祉工学」の配当年次を「1年前期」から「1年後期」に変更。講義形態見直しにより兼任・兼担数を「1」から「10」に変更。
- ・担当教員の職位変更と担当教員変更により、「生物生命学セミナー」の専任教員等の配置を「教授14、准教授9、助教1」から「教授19、准教授10、助教2」に変更。
- ・担当教員変更により、「生物学」の専任教員等の配置を「教授2、准教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・担当教員追加により、「分析化学」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員変更により、「生化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「分析化学実験」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「生命科学基礎実験」「生命科学実践研究」「生命科学実験演習」の専任教員等の配置を「教授8、准教授4、助教1」から「教授8、准教授5、助教0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授4、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「情報処理技術」の専任教員等の配置を「教授4、准教授4」から「教授6、准教授2」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「専門英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4、准教授2」から「教授5、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「ゼミナール」「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授14、准教授9、助教1」から「教授16、准教授8、助教0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「栄養生理学」「応用分子生物学」「遺伝子工学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「微生物遺伝学実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授0」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「細胞工学実験」の専任教員等の配置を「教授2、助教1」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・担当教員の職位変更により、「バイオテクノロジー総論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2」から「教授5、准教授0」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	111 科目	22 科目	158 科目	25 科目 [0]	116 科目 [5]	22 科目 [0]	163 科目 [5]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	現代の社会と経済	2	1後・2	一般	選択	兼任教員の本務都合のため1年後期のコマを未開講
2	ドイツ語圏の文化と社会	2	1後・2	一般	選択	兼任教員の本務都合のためR4年度は未開講
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

[未開講科目について]

2科目ともに一般教育の人間と科学・外国語教育について幅広い分野の複数科目(16科目)から1科目選択必修科目であることと、同じ形態内容の授業を、前期1コマ(2年生)、後期2コマ(1年生、2年生)開講しているため、学生への履修の影響は少なく学習に支障はないと考える。学生には、オリエンテーション時、対象者全員へプリントを配布し周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{3}{158} = \boxed{1.89}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考											
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校地購入のため(4)											
	校舎敷地	218,227.82㎡ 208,746.99㎡	0㎡	0㎡	218,227.82㎡ 208,746.99㎡												
	運動場用地	179,865.00㎡	0㎡	0㎡	179,865.00㎡												
	小 計	388,611.99㎡	0㎡	0㎡	388,611.99㎡												
	そ の 他	433,225.11㎡ 433,995.92㎡	0㎡	0㎡	433,225.11㎡ 433,995.92㎡		学園所有地売却のため (4)										
	合 計	822,607.91㎡	0㎡	0㎡	822,607.91㎡												
(2) 校 舎	専 用	90,720.68㎡ 90,447.08㎡	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	附属施設を借用のため (4)											
	(90,720.68㎡ 90,447.08㎡)	(0㎡)	(0㎡)	90,720.68㎡ 90,447.08㎡													
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 校舎内の改修や部屋の用途変更を 行ったため(4)											
	74室 78室	5室 6室	343室 337室	11室 12室 (補助職員 5 4人)	23室 24室 (補助職員 3人)												
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		専任教員の異動に伴い変更 (4)											
	生物生命学部	生物生命学科		32 24 室													
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 算入が必要な学術雑誌に 漏れがあったため(4)									
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					点	点	点						
		冊	種	[うち外国書]													
		生物生命学部 生物生命学科	218,186 [20,673] (208,306 [20,044]) (208,100 [20,004])	5,906 [5,192] 4,176 [4,055] (4,176 [4,055]) (5,906 [5,192])								4,710 [4,708] 4,042 [4,042] (4,042 [4,042]) (4,710 [4,708])	4,262 (3,993) (4,058)	959 (959)	0 (0)		
計	218,186 [20,673] (208,100 [20,004]) (208,306 [20,044])	5,906 [5,192] 4,176 [4,055] (5,906 [5,192]) (4,176 [4,055])	4,710 [4,708] 4,042 [4,042] (4,710 [4,708]) (4,042 [4,042])	4,262 (3,993) (4,058)	959 (959)	0 (0)											
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		図書館は図書館本館に ついて記載する。										
	6,777㎡		453		182,222												
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要														
	3,236㎡		野球場	1面	弓道場	1棟	ソフトボール場	2面	射撃場	1棟	テニスコート	6面	プール	1棟	屋内野球練習場	1棟	フットサル場
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル、データ ベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。								
		教員1人当り研究費等	709千円	709千円	図書購入費	7,917千円	7,917千円	7,917千円									
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	7,387千円	7,387千円	7,387千円										
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次										
	1,470千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	1,250千円	— 千円	— 千円										
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金														

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	崇城大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	1	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部	4	270	-	1070	-	1.11	1.07	-	昭和42	-	
機械工学科	4	70	-	280	学士(工学)	1.17	1.17	-	昭和42	熊本県熊本市西区池田4丁目22番1号	
ナノサイエンス学科	4	50	-	200	学士(工学)	1.04	1.08	-	平成19	同上	
建築学科	4	70	-	260	学士(工学)	1.32	1.28	-	平成19	同上	※令和2年度入学定員増(20名)
宇宙航空システム工学科	4	80	-	330	学士(工学)	0.97	0.81	-	昭和51	同上	※令和2年度入学定員減(△10名)
芸術学部	4	70	-	280		1.09	1.20	-	平成12	-	
美術学科	4	30	-	120	学士(芸術)	0.98	1.56	-	平成12	同上	
デザイン学科	4	40	-	160	学士(芸術)	1.18	0.92	-	平成12	同上	
情報学部	4	130	-	520		1.20	1.19	-	平成17	-	
情報学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.20	1.19	-	平成21	同上	
生物生命学部	4	150	-	610		1.09	1.19	-	平成17	-	
応用微生物工学科	4	-	-	220	学士(工学)	0.96	-	-	平成17	同上	※令和2年度入学定員減(△10名) ※令和4年度学生募集停止
応用生命科学科	4	-	-	240	学士(工学)	1.15	-	-	平成17	同上	※令和4年度学生募集停止
生物生命学科	4	150	-	150	学士(工学)	1.19	1.19	-	令和4	同上	
薬学部	6	120	-	720		1.13	1.16	-	平成17	-	
薬学科	6	120	-	720	学士(薬学)	1.13	1.16	-	平成18	同上	
大学全体	-	740	-	3200	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	崇城大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	1	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学研究科(修士課程)	2	65		130	-	0.83	0.81	-	昭和57	-	
機械工学専攻	2	10		20	修士(工学)	0.60	0.40	-	平成3	熊本県熊本市西区池田4丁目22番1号	
応用化学専攻	2	10		20	修士(工学)	0.85	1.00	-	平成元	同上	
建設システム開発工学専攻	2	10		20	修士(工学)	0.50	0.40	-	平成3	同上	
宇宙航空システム工学専攻	2	5		10	修士(工学)	0.00	0.00	-	昭和62	同上	
応用情報学専攻	2	10		20	修士(工学)	1.10	1.60	-	平成23	同上	
応用微生物工学専攻	2	10		20	修士(工学)	0.45	0.20	-	昭和57	同上	
応用生命科学専攻	2	10		20	修士(工学)	1.95	1.70	-	平成16	同上	
工学研究科(博士課程)	3	23		69	-	0.12	0.13	-	平成元	-	
機械システム工学専攻	3	2		6	博士(工学)	0.00	0.00	-	平成11	同上	
応用化学専攻	3	5		15	博士(工学)	0.00	0.00	-	平成3	同上	
環境社会工学専攻	3	2		6	博士(工学)	0.16	0.00	-	平成10	同上	
応用情報学専攻	3	4		12	博士(工学)	0.08	0.00	-	平成23	同上	
応用微生物工学専攻	3	5		15	博士(工学)	0.20	0.20	-	平成元	同上	
応用生命科学専攻	3	5		15	博士(工学)	0.26	0.40	-	平成16	同上	
芸術研究科(修士課程)	2	12		24	-	0.54	0.25	-	平成16	-	
美術専攻	2	6		12	修士(芸術)	0.83	0.33	-	平成16	同上	
デザイン専攻	2	6		12	修士(芸術)	0.24	0.16	-	平成16	同上	
芸術研究科(博士課程)	3	3		9	-	0.00	0.00	-	平成18	-	
芸術学専攻	3	3		9	博士(芸術)	0.00	0.00	-	平成18	同上	
薬学研究科(博士課程)	4	5		20	-	0.45	0.00	-	平成24	-	
薬学専攻	4	5		20	博士(薬学)	0.45	0.00	-	平成24	同上	
大学院全体	-	108	-	252	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮坂 均 (64(高)) <令和4年4月> 薬学博士
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞培養工学 細胞工学 細胞工学実験 代謝工学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原島 俊 (72(高)) <令和4年4月> 工学博士
		生物生命学セミナー ※
専	教授	安藤 祥司 (65(高)) <令和4年4月> 理学博士
		生物生命学セミナー ※
専	教授	松本 陽子 (65(高)) <令和4年4月> 薬学博士
		生物生命学セミナー ※ 分析化学
専	教授	宮坂 均 (64(高)) <令和4年4月> 薬学博士
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞培養工学 細胞工学 細胞工学実験 代謝工学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	寺本 祐司 (63(高)) <令和4年4月> 農学博士	寺本 祐司 (63(高)) <令和4年4月> 農学博士
		発酵食品学 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ	発酵食品学 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	教授	田口 久貴 (62) <令和4年4月> 農学博士	田口 久貴 (62) <令和4年4月> 農学博士
		生物生命学セミナー ※ 酵素学 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 微生物遺伝学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論Ⅰ	生物生命学セミナー ※ 酵素学 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 微生物遺伝学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論Ⅰ
専	教授	齋田 哲也 (60) <令和4年4月> 博士(薬学)	齋田 哲也 (60) <令和4年4月> 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 一般解剖学 生命科学基礎実験 ※ 医学基礎 薬学基礎 ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生理活性物質 生命科学実践研究 生命科学実践演習	生物生命学セミナー ※ 一般解剖学 生命科学基礎実験 ※ 医学基礎 薬学基礎 ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生理活性物質 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	武谷 浩之 (59) <令和4年4月> 博士(理学)	専	教授	武谷 浩之 (59) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生物学 生命情報科学実験 遺伝子科学 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生物学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生物学 生命情報科学実験 遺伝子科学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	石田 誠一 (57) <令和4年4月> 博士(薬学)	専	教授	石田 誠一 (58) <令和4年4月> 博士(薬学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学Ⅱ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用工学 ※ 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生化学Ⅱ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用工学 ※ 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	長濱 一弘 (57) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	長濱 一弘 (57) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 生物資源環境工学 生物資源環境工学実験 生物反応工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ			生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 生物資源環境工学 生物資源環境工学実験 生物反応工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	後藤 浩一 (56) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	後藤 浩一 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生体高分子科学 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生体高分子科学 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	三枝 敬明 (56) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	三枝 敬明 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		食品生体機能学 生物生命学セミナー ※ 醸造学 情報処理技術 ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ			食品生体機能学 生物生命学セミナー ※ 醸造学 情報処理技術 ※ 専門英語Ⅱ ※ ゼミナール 卒業研究 食品生物科学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	教授	山本 進二郎 (56) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	山本 進二郎 (56) <令和4年4月> 博士(工学)
		化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 特別講義 ゼミナール 卒業研究 細胞機能学 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習			化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 特別講義 ゼミナール 卒業研究 細胞機能学 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	千々岩 崇仁 (53) <令和4年4月> 博士(理学)	専	教授	千々岩 崇仁 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生化学 I 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	教授	浴野 圭輔 (50) <令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	浴野 圭輔 (51) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 分子遺伝学 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 I 応用微生物学実験 微生物利用学 分子生命化学 I 分子生命化学 II バイオテクノロジー総論 I			生物生命学セミナー ※ 生化学 I 分子遺伝学 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学 I 応用微生物学実験 微生物利用学 分子生命化学 I 分子生命化学 II バイオテクノロジー総論 I
専	教授	市原 英明 (49) <令和4年4月> 博士(工学)	専	教授	市原 英明 (49) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 一般生理学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 分析化学 一般生理学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 医薬材料学 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	岡 拓二 (45) <令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	岡 拓二 (46) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生化学 I 細胞生物学 発酵化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学実験 応用微生物学 II バイオテクノロジー総論 I			生物生命学セミナー ※ 細胞生物学 発酵化学 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用微生物学実験 応用微生物学 II バイオテクノロジー総論 I
専	准教授	西園(千葉) 祥子 (48) <令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	西園(千葉) 祥子 (48) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学実験 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 栄養生理学 バイオテクノロジー総論 I			化学 II 生物生命学セミナー ※ 分析化学実験 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ 専門英語 II ※ ゼミナール 卒業研究 栄養生理学 バイオテクノロジー総論 I
専	准教授	笹野 佑 (42) <令和4年4月> 博士(農学)	専	教授	笹野 佑 (42) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論 I			生物生命学セミナー ※ 専門英語 I ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 応用分子生物学 遺伝子工学 微生物遺伝学実験 バイオテクノロジー総論 I

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	宮原 浩二 (51) <令和4年4月> 博士(工学)	専	准教授	宮原 浩二 (51) <令和4年4月> 博士(工学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生体情報学 生体システム論 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 生命情報科学実験 生体情報学 生体システム論 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	西山 孝 (49) <令和4年4月> 博士(農学)	専	准教授	西山 孝 (49) <令和4年4月> 博士(農学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 環境工学概論 ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境論 生命環境科学実験 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 環境工学概論 ゼミナール 卒業研究 環境生態学 生命環境論 生命環境科学実験 ※ 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	劉 暁輝 (47) <令和4年4月> 博士(理学)	専	准教授	劉 暁輝 (48) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生物学 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 環境保全工学 生物資源環境工学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ			化学Ⅰ 生物生命学セミナー ※ 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 環境保全工学 生物資源環境工学実験 バイオテクノロジー総論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	太田 広人 (47) <令和4年4月> 博士(農学)	専	准教授	太田 広人 (47) <令和4年4月> 博士(農学)
		化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物生命学セミナー ※ 有機化学 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生命化学Ⅰ 分子生命化学Ⅱ 分子生命化学実験 蛋白質工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ			生物生命学セミナー ※ 有機化学 専門英語Ⅰ ※ 情報処理技術 ※ ゼミナール 卒業研究 分子生命化学Ⅰ 分子生命化学Ⅱ 分子生命化学実験 蛋白質工学 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	准教授	小島 幸治 (44) <令和4年4月> 博士(学術)	専	准教授	小島 幸治 (45) <令和4年4月> 博士(学術)
		生物生命学セミナー ※ 分析化学 分析化学実験 専門英語Ⅱ ※ 食品分析学 ゼミナール 卒業研究 バイオテクノロジー総論Ⅱ			生物生命学セミナー ※ 分析化学 分析化学実験 専門英語Ⅱ ※ 食品分析学 ゼミナール 卒業研究 バイオテクノロジー総論Ⅱ
専	助教	林 修平 (45) <令和4年4月> 博士(工学)	専	准教授	林 修平 (45) <令和4年4月> 博士(工学)
		化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習			化学Ⅰ 化学Ⅱ 生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 細胞工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	古水 雄志 (43) <令和4年4月> 博士(工学)	専	准教授	古水 雄志 (43) <令和4年4月> 博士(工学)
		自然共生人類学 生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習			自然共生人類学 生物生命学セミナー ※ 有機化学 生命科学基礎実験 ※ ゼミナール 卒業研究 医用生体工学実験 生命科学実践研究 生命科学実践演習
専	准教授	平 大輔 (40) <令和4年4月> 博士(理学)	専	准教授	平 大輔 (40) <令和4年4月> 博士(理学)
		生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 環境化学 生命科学実践研究 生命科学実践演習			生物生命学セミナー ※ 生命科学基礎実験 ※ 生物物理化学 ※ ゼミナール 卒業研究 生命環境科学実験 ※ 蛋白質科学 ※ 環境化学 生命科学実践研究 生命科学実践演習
			専	准教授	阿部 雄一 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
					生物生命学セミナー ※
			専	准教授	江崎加代子 (36) <令和4年4月> 博士(理学)
					生物生命学セミナー ※ 生物学
			専	助教	奥村 真樹 (30) <令和4年4月> 博士(工学)
					生物生命学セミナー ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	川副 智行 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼任	教授	藤本 元啓 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学) キャリアプレコーオブ インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリアプロジェクト キャリアセミナー
兼任	教授	鈴木 俊洋 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 科学技術者倫理
兼任	教授	岩本 晃代 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)(比較社会文化) SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 日本の文学 教育制度論 教職実践演習
兼任	教授	富田 健之 (66) ＜令和4年4月＞ 文学修士 SOJOセミナー ※ 人間と歴史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	門岡 千尋 (28) ＜令和4年4月＞ 博士(農学) 生物生命学セミナー ※ 生物学
兼任	教授	川副 智行 (54) ＜令和4年4月＞ 博士(工学) アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼任	教授	藤本 元啓 (66) ＜令和5年4月＞ 博士(文学) キャリアプレコーオブ インターンシップⅠ インターンシップⅡ キャリアプロジェクト キャリアセミナー
兼任	教授	鈴木 俊洋 (53) ＜令和4年4月＞ 博士(学術) SOJOセミナー ※ 科学技術者倫理
兼任	教授	岩本 晃代 (59) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)(比較社会文化) SOJOセミナー ※ SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 日本の文学 教育制度論 教職実践演習
兼任	教授	富田 健之 (66) ＜令和4年4月＞ 文学修士 SOJOセミナー ※ 人間と歴史

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	上野 賢仁 (55) <令和4年4月> 博士(工学)	上野 賢仁 (55) <令和4年4月> 博士(工学)
		人間と環境 基礎物理学 物理学 物理学実験 特殊講座	人間と環境 物理学実験
兼任	教授	今井 亮佑 (44) <令和4年4月> 修士(法学)	今井 亮佑 (44) <令和4年4月> 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ 現代の社会と政治	SOJOセミナー ※ SOJO基礎 I SOJO基礎 II 現代の社会と政治
兼任	教授	河合 浩明 (64) <令和4年4月> 博士(理学)	河合 浩明 (64) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理 I バイオ・化学系の基礎数理 II バイオ・化学系の数理 II	バイオ・化学系の基礎数理 I バイオ・化学系の基礎数理 II バイオ・化学系の数理 II
兼任	教授	木村 勝美 (72) <令和4年4月> 教育学士	木村 勝美 (73) <令和4年4月> 教育学士
		教職概論 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 事前・事後指導 教育実習 I 教育実習 II 教職実践演習	SOJOセミナー ※ 教育課程論 総合的な学習の時間の指導法 特別活動論 教育方法論 事前・事後指導 教育実習 I 教育実習 II 教職実践演習
兼任	教授	中村 賢次 (59) <令和4年4月> 美術修士	
		アートとデザイン ※	
兼任	教授	熊谷 有展 (55) <令和4年4月> 芸術修士	
		アートとデザイン ※	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関根 浩子 (58) <令和4年4月> 博士(芸術学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	永田 郁 (51) <令和4年4月> 博士(文学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	森野 晶人 (58) <令和4年4月> 芸術学修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	原田 和典 (55) <令和4年4月> 芸術修士※
		アートとデザイン ※
兼任	教授	三枝 泰之 (64) <令和4年4月> 文学士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	飯田 晴彦 (58) <令和4年4月> 博士(工学)
		アートとデザイン ※
兼任	准教授	園部 博範 (69) <令和4年4月> 文学士
		人間と心理 教育心理学 教職実践演習
兼任	准教授	竹内 明里 (46) <令和4年4月> 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎 I SOJO基礎 II 現代の社会と法 日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	永田 郁 (51) <令和4年4月> 博士(文学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	森野 晶人 (58) <令和4年4月> 芸術学修士
		アートとデザイン ※
兼任	教授	原田 和典 (55) <令和4年4月> 芸術修士※
		アートとデザイン ※
兼任	教授	飯田 晴彦 (58) <令和4年4月> 博士(工学)
		アートとデザイン ※
兼任	教授	園部 博範 (69) <令和4年4月> 文学士
		SOJOセミナー ※ 人間と心理 教育心理学 教職実践演習
兼任	准教授	竹内 明里 (46) <令和4年4月> 修士(法学)
		SOJOセミナー ※ 現代の社会と法 日本国憲法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	水月 晃 (48) <令和4年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康スポーツ実習
兼任	准教授	増村 雅尚 (45) <令和4年4月> 修士(体育学)
		SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ
兼任	准教授	藤原 大樹 (41) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ 健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康科学概論
兼任	准教授	天本 徳浩 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		物理学実験
兼任	准教授	日比野 剛士 (52) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼任	准教授	大嶋 康裕 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼任	准教授	津曲 紀宏 (39) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	水月 晃 (48) <令和4年4月> 修士(教育学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康スポーツ実習
兼任	准教授	藤原 大樹 (41) <令和4年4月> 修士(人間環境学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ 健康科学概論
兼任	准教授	天本 徳浩 (60) <令和5年4月> 博士(工学)
		物理学実験
兼任	教授	日比野 剛士 (53) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ バイオ・化学系の数理Ⅱ
兼任	准教授	大嶋 康裕 (43) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ
兼任	准教授	津曲 紀宏 (39) <令和4年4月> 博士(理学)
		バイオ・化学系の基礎数理Ⅰ バイオ・化学系の基礎数理Ⅱ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	准教授	山本 康詞 (67) <令和5年4月> 工学士	兼任 講師	山本 康詞 (67) <令和5年4月> 工学士
		進路指導・生徒指導論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習		進路指導・生徒指導論 事前・事後指導 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
兼任	准教授	宝来 華代子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)	兼任 教授	宝来 華代子 (50) <令和4年4月> 博士(文学)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ TOEIC演習		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ TOEIC演習
兼任	准教授	Elton LaClare (46) <令和4年4月> Creative Writing(英国)	兼任 准教授	Elton LaClare (47) <令和4年4月> Creative Writing(英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	准教授	Robert Hirschel (45) <令和4年4月> TESOL(米国)	兼任 准教授	Robert Hirschel (45) <令和4年4月> TESOL(米国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	准教授	佐藤 和歌子 (42) <令和4年4月> 修士(芸術)		
		アートとデザイン ※		
兼任	准教授	清島 浩徳 (53) <令和4年4月> 博士(芸術)		
		アートとデザイン ※		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	下城 賢一 (49) <令和4年4月> 修士(美術)
		アートとデザイン ※
兼任	准教授	甲野 善一郎 (46) <令和4年4月> 修士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼任	准教授	小川 剛 (40) <令和4年4月> 修士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼任	講師	上妻 利博 (63) <令和4年4月> 文学士
		SOJOセミナー ※ SOJO基礎 I SOJO基礎 II 日本語表現
兼任	講師	木下(有江) 陽子 (44) <令和4年4月> TESOL(米国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	講師	David Bollen (50) <令和4年4月> Linguistics(豪州)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ アカデミック英語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	甲野 善一郎 (46) <令和4年4月> 修士(芸術)
		アートとデザイン ※
兼任	講師	木下(有江) 陽子 (44) <令和4年4月> TESOL(米国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	准教授	David Bollen (50) <令和4年4月> Linguistics(豪州)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ アカデミック英語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	Gareth Humphreys (42) <令和4年4月> Modern Languages (英国)	講師	Gareth Humphreys (42) <令和4年4月> Modern Languages (英国)
		英語圏の文化と社会 イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ 英語留学研修		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ 英語留学研修
兼任	講師	Branden Kirchmeyer (34) <令和4年4月> ESOL Education (英国)	講師	Branden Kirchmeyer (34) <令和4年4月> ESOL Education (英国)
		イングリッシュコミュニケーションⅠ イングリッシュコミュニケーションⅡ イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ		イングリッシュコミュニケーションⅢ イングリッシュコミュニケーションⅣ
兼任	講師	川本 正道 (62) <令和4年4月> 修士(法学)	兼任 准教授	川本 正道 (62) <令和4年4月> 修士(法学)
		情報処理基礎		情報処理基礎 特殊講座(情報と社会)
兼任	助教	田口 雄太 (36) <令和4年4月> 博士(工学)	兼任 助教	田口 雄太 (36) <令和4年4月> 博士(工学)
		アントレプレナーシップ入門 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション		情報処理基礎 ベンチャービジネス イノベーション入門 ローカルイノベーション
兼任	助教	板橋 克美 (30) <令和4年4月> 博士(理学)	兼任 助教	板橋 克美 (30) <令和4年4月> 博士(理学)
		基礎物理学 物理学 物理学実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験		基礎物理学 物理学 物理学実験 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ 地学 地学実験

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 崇 (51) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		キャリアプレコーオプ
兼任	講師	黒杭 隆政 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(農学)
		発酵工業機器論【隔年】
兼任	講師	宮本 敬久 (63) ＜令和6年4月＞ 農学博士
		食品保蔵学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	星合 隆成 (60) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		特殊講座(異分野融合イノベーション)
兼任	教授	筒口 拳 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(情報学)
		特殊講座(異分野融合イノベーション)
兼任	助教	内藤 豊 (52) ＜令和4年4月＞ 学士(法学)
		特殊講座(異分野融合イノベーション)
兼任	准教授	植村 匠 (41) ＜令和4年4月＞ 博士(工学)
		特殊講座(異分野融合イノベーション)
兼任	講師	西見 文明 (64) ＜令和4年4月＞ 工学士
		特殊講座(情報コミュニケーション)
兼任	助教	原北 祥悟 (31) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		教職概論
兼任	講師	藤田 崇 (51) ＜令和5年4月＞ 学士(法学)
		キャリアプレコーオプ
兼任	講師	黒杭 隆政 (53) ＜令和6年4月＞ 修士(農学)
		発酵工業機器論【隔年】
兼任	講師	宮本 敬久 (63) ＜令和6年4月＞ 農学博士
		食品保蔵学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩崎 真理子 (35) <令和6年4月> 学士(薬学)
		食品関係法規
兼任	講師	田村 光司 (60) <令和6年4月> 農学修士
		工場管理法【隔年】
兼任	講師	村山 伸樹 (71) <令和4年4月> 医学博士
		医療福祉工学
兼任	講師	山田 佳央 (50) <令和5年4月> 修士(保健科学)
		医用工学 ※
兼任	講師	清水 俊 (41) <令和4年4月> 博士(学術)
		人間と哲学
兼任	講師	徳永 洋 (71) <令和4年4月> 経済学士
		現代の社会と経済
兼任	講師	単 援朝 (68) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語圏の文化と社会 中国語
兼任	講師	辛 教燦 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		韓国語圏の文化と社会 韓国語
兼任	講師	Florian Alexander Axt (44) <令和4年4月> Area Studies(独国)
		ドイツ語圏の文化と社会 ドイツ語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岩崎 真理子 (35) <令和6年4月> 学士(薬学)
		食品関係法規
兼任	講師	田村 光司 (60) <令和6年4月> 農学修士
		工場管理法【隔年】
兼任	講師	山田 佳央 (50) <令和5年4月> 修士(保健科学)
		医用工学 ※
兼任	講師	清水 俊 (41) <令和4年4月> 博士(学術)
		人間と哲学
兼任	講師	単 援朝 (68) <令和4年4月> 博士(文学)
		中国語圏の文化と社会 中国語
兼任	講師	辛 教燦 (39) <令和4年4月> 博士(文学)
		韓国語圏の文化と社会 韓国語
兼任	講師	Florian Alexander Axt (44) <令和4年4月> Area Studies(独国)
		ドイツ語圏の文化と社会 ドイツ語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FERRERO Yves Pierre (64) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		フランス語圏の文化と社会 フランス語
兼任	講師	入部 祐郁 (29) ＜令和4年4月＞ 修士(人間環境学)
		健康スポーツ教育Ⅰ 健康スポーツ教育Ⅱ
兼任	講師	田代 敬大 (68) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		バイオ・化学系の数理Ⅰ
兼任	講師	福島 和洋 (68) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		基礎物理学 物理学
兼任	講師	塩入(園部) すみ (60) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ 基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	與縄 友子 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ
兼任	講師	道本 ゆう子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	石村 華代 (47) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		教育原論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	FERRERO Yves Pierre (64) ＜令和4年4月＞ 高等学校卒
		フランス語圏の文化と社会 フランス語
兼任	講師	田代 敬大 (69) ＜令和5年4月＞ 博士(工学)
		バイオ・化学系の数理Ⅰ
兼任	講師	福島 和洋 (68) ＜令和4年4月＞ 理学博士
		基礎物理学 物理学
兼任	講師	塩入(園部) すみ (60) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ
兼任	講師	與縄 友子 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅰ 基礎日本語Ⅱ
兼任	講師	道本 ゆう子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(文学)
		基礎日本語Ⅲ 基礎日本語Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河田 将一 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育論
兼任	講師	西村 陽一 (72) ＜令和6年4月＞ 商学士
		道徳教育指導論
兼任	講師	蔵岡(中田) 智子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育相談の理論と方法
兼任	講師	田中 均 (69) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅳ
兼任	講師	吉朝 朗 (64) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		地学 地学実験

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河田 将一 (50) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		特別支援教育論
兼任	講師	西村 陽一 (72) ＜令和6年4月＞ 商学士
		道徳教育指導論
兼任	講師	蔵岡(中田) 智子 (45) ＜令和5年4月＞ 修士(教育学)
		教育相談の理論と方法
兼任	講師	田中 均 (69) ＜令和6年4月＞ 理学博士
		理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅳ
兼任	講師	吉朝 朗 (64) ＜令和5年4月＞ 理学博士
		地学 地学実験
兼任	講師	村田 由美 (66) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		SOJO基礎Ⅰ SOJO基礎Ⅱ
兼任	講師	久保 高明 (50) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		医療福祉工学 ※
兼任	講師	飯山 準一 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		医療福祉工学 ※
兼任	講師	古閑 公治 (56) ＜令和4年4月＞ 博士(学術)
		医療福祉工学 ※

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

--

【令和4年度】

【継続雇用】 専任：原島俊、安藤祥司、松本陽子 兼担：町田光男、阪本達也
【昇任】 専任：西園(千葉) 祥子(准教授→教授)、笹野佑(准教授→教授)、林修平(助教→准教授) 兼担：園部博範(准教授→教授)、日比野剛士(准教授→教授)、宝来華代子(准教授→教授)、David Bollen(講師→准教授)
【兼任から専任に変更】 藤田崇
【新規採用】 専任：阿部雄一、江崎加代子、奥村真樹、門岡千尋 兼担：Gougeon Luc、Robert Dykes、Robert Remmerswaal、吉塚治生、徳永憲治、西澤頼孝、村井健太郎、奥田直辰、馬頭亮太、木戸貴弘、原北祥悟
【所属学部・学科または本人の都合により担当者変更】 追加：阪本達也、藤城謙一、稲尾誠治、村田由美、久保高明、飯山準一、古閑公治、兒玉成博、小手川耕平、爲近岳夫、永友真紀、松尾崇史、松原誠仁、宮本敬久、森邦昭 削除：中村賢次、熊谷有展、関根浩子、佐藤和歌子、清島浩徳、下城賢一、村山伸樹、入部祐郁、石村華代
【退職】 三枝泰之、小川剛、上妻利博、増村雅尚
【退職後、兼任講師として雇用】 ・山本康詞
【流動的に内容を決定する「特殊講座」について、複数を開講していることから、担当者を追加】 星合隆成、筒口けん、堀部典子、植村匠、中山泰宗、西見文明、内藤豊

ka

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
16 名	8 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
14	9	0	1	24	0	19	10	0	2	31	0
(14)	(9)	(0)	(1)	(24)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
16	10	0	2	28	0	16	10	0	2	28	0
[2]	[1]	[0]	[1]	[4]	[0]	[2]	[1]	[0]	[1]	[4]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	6 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階まで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{28}{24} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{31} = \boxed{9.67} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{24} = 0 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

- 人

(注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	太田 一良	-	-	-	R3.3.31付け65歳で定年退職(4)				
2	教授	進 正志	-	-	-	R4.3.31付け65歳で定年退職(4)				
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

定年により退職した専任教員は設置届出時より、授業を担当する計画ではなかったため、計画の履行に影響はない。
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (令和4年)	該当なし	該当なし 履行中	該当なし

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生物生命学部 生物生命学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<ul style="list-style-type: none"> ・既設の2学科で共通した必修基礎科目（化学Ⅰ、化学Ⅱ、生物学、分析化学、生化学Ⅰ、有機化学）を1年次で習熟度別に丁寧に指導する。 ・設置の趣旨において、「食生活アドバイザー」の受験資格において、「卒業要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格を取得可能」と記載していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生化学Ⅱは習熟度別で実施していない。生化学は「生命現象を、主として化学的方法によって解明する学問」であり、生化学Ⅱはその基礎的内容となり、大学から始める学問であるため、習熟度別対応していない。届出時の記載に誤りがあったため、訂正する。 ・実際は、卒業要件単位に含まれる科目の履修は受験のために必要ないものであるため、訂正する。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会の専門委員会としてFD委員会を設置している。FD委員会は、教務委員会が審議する事項のうち、FDに係る授業内容及び方法の改善、組織的な研修、研究等について検討する。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会は、教務部長が指名した委員長を置き、各学科より選出された委員、事務局長、教務課長および教務部長が必要と認めた者によって構成する。また、委員長が必要と認めたときは、委員以外の者を会議に参加させることができる。構成員17人、年間6回の会議を実施した。（平成3年度実績） <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FDを推進するために、授業アンケートによる授業内容及び方法の改善や、FD講演会の実施など組織的な研修、研究等の実施について審議している。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業実施マニュアル「授業の進め方」の作成 ・「授業アンケート」に基づく教授方法の改善 ・FD講演会の実施 ・「崇城大学紀要」への教授方法に関する論文の掲載 ・シラバスの点検 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を必要に応じ改訂し、新任教員に配布する。 ・「授業アンケート」は、専任・非常勤を問わず全開講科目を対象に、前後期の学期末にWEBにて実施する。受講生からの評価の高かった科目を担当した教員に「ベストティーチング賞」を授与し、その授業を他の教員が参観する機会を設ける。 ・FD講演会は、「ベストティーチング賞」を受賞した教員によるもの、授業改善等に関すること、協定大学との合同で実施することなど学内外の識者を講師とし、講演やグループワーク等の形式で開催する。 ・教育研究に関する論文集として「崇城大学紀要」を毎年発行しており、各分野における教授法や、学生の理解度の調査に関する論文を審査の上で掲載している。FD委員会では、「ベストティーチング賞」を受賞した教員に授業内容や教授方法について執筆を依頼し、査読を経て掲載する。 ・シラバスの点検は、シラバスが教務委員会が定めた作成要領に則って作成されているか、FD委員を中心に科目毎に担当者を決定しチェックを行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を、新任者説明会（4月実施）で配布した。
- ・「授業アンケート」は、全教員、全開講科目を対象に、前期：8月、後期：2月にWEBにて実施した。例年、「ベストティーチング賞」の授業を他の教員が参観する機会を設けているが、令和2年度と3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受賞者の授業の工夫に関する講話をオンラインで視聴することとした。
- ・FD講演会は、「ベストティーチング賞」を受賞した教員による事例報告を、オンラインでの開催とグループワークを含む研修会の各1回実施した。また、将来的に専門科目や研究活動での活用が必須となる「データサイエンス」に関する講演、多様化する学生への理解を深めるため「合理的配慮について」の講演、協定大学との合同FD講演会として「アカデミック・アドバイジング」について外部講師による日米の実践事例の紹介などを実施した。年計5回実施し、教員は延べ307名参加した。
- ・「崇城大学紀要」に、「ベストティーチング賞」を受賞した10名の教員の授業内容や教授方法について、査読を経て掲載をした。
- ・シラバスの点検について作成要領に則って作成されているか、FD委員を中心に各学科教員でチェックを行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業実施マニュアル「授業の進め方」を閲読することで、教員としての心構えの醸成と授業準備の一助としている。
- ・「授業アンケート」の結果を、二つの形で教授方法の改善に繋げている。第1に、受講生からの評価の高かった科目を担当した教員に「ベストティーチング賞」を授与し、受賞者の授業の工夫に関する講話をオンラインで視聴する機会を設け、自身の教授方法の見直し・改善に繋げられるようにした。第2に、自由記述も含めてアンケートの集計結果を担当教員にフィードバックすることで、受講生の生の声を基に教授方法の改善を図れるようにしている。
- ・FD講演会等にて、教育に関する様々な情報を提供し、多方面からの授業改善を進めている。
- ・「崇城大学紀要」に「ベストティーチング賞」教員の授業内容や教授方法について掲載し、ホームページにて公表することで各教員が閲覧し、授業改善と新人教員の授業構築支援を行っている。
- ・シラバス点検について、シラバスチェックは、単にシラバスの不備を修正する作業ではなく、他教員が作成したシラバスを閲読することで、自己の担当科目の授業改善に繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施している。実施時期：年2回（前期：8月、後期：2月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの集計結果は、学内からのみアクセス可能なサイトにて、全教職員および学生に公表した。また、アンケートの自由記載欄に学生がコメントをしており、コメントは、学長・副学長・学部長・学科長および各授業担当教員へ配付した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

生物生命学科は、既設の応用微生物工学科および応用生命科学科の2学科を改組し、その性質を引き継ぎ発展させたものである。学部・学科の特色を明確に示し、学生募集を行った結果、志願者数は前年度（令和3年度）の2学科の合計である757名から今年度（令和4年度）の803名となり、学生の指示を得ていると評価している。今後も教育研究を充実し、ステークホルダーに適切な情報の提供を行う。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和4年6月30日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和4年6月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 a で「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 a で公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。